

9月 社会学研究科・学部臨時教授会 議事要旨

I 議事要旨の確認

- 1 平成27年度7月及び7月（臨時）社会学研究科・学部教授会議事要旨
議事要旨を確認した。

II 報告事項

1 海外渡航（報告）について

研究科長から、6件の海外渡航について報告があった。

2 サバティカル（研修年）について

研究科長から、サバティカルについては、8年目に【有】と記してある者が有資格者となる旨説明があり、10月の教授会で平成27年度のサバティカル取得者を決定するので、希望者は10月5日（月）までに事務長へ申し出るよう説明があった。

また、鈴木直文先生について、今年度、経済研究所の後藤玲子先生が代表者となっている研究プロジェクト「頭脳循環を加速する戦略的国際研究ネットワーク推進プログラム（文科省補助金）」により海外出張する予定となっていたが、後藤先生と相談の末、プロジェクトを離脱することになった。既に、レアプラン等も調整済みのため、鈴木先生のサバティカル取得の資格を有する時期が平成29年度となっているが、前倒しの取得について教授会で承認を得たい旨説明があり、承認された。

3 その他

III 審議事項

1 人事について

（1）「平成27年度国立大学改革強化補助金『特定支援型』」による若手研究者の採用人事について

研究科長から、人事委員会より推薦のあった Sonja Pei-Fen DALE（ソニア・ペイファン・デー ル）氏を候補者としていた旨提案があった後、人事委員会（中野教授）から、選考の経緯、履歴、研究業績等について紹介があった。

この人事は、「採用人事に関する申し合わせ」の5.「公募の場合は、人事委員会から審査委員会に移行する場合には、改めて教授会で委員を選考することを省略できるものとする。」となっているが、今回は、尾崎教授に替えて1名選出したい旨説明があり、投票の結果、佐藤文香教授が選出された。

本件人事は公募による採用人事のため、第一読会のみとなるため、次回の9月25日の臨時教授会で第一読会后、直ちに投票を行う旨説明があった。

2 海外渡航（審査）について

研究科長から、3件の海外渡航に関して説明があり、承認された。

3 その他